



2018年10月1日

各 位

会 社 名 株式会社第四北越フィナンシャルグループ
代 表 者 名 代表取締役社長 並木 富士雄
(コード：7327 東証第一部)

2019年3月期の通期連結業績予想並びに
株主還元方針（配当政策）及び2019年3月期の配当予想のお知らせ

第四北越フィナンシャルグループの2019年3月期の通期連結業績予想につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

また、当社の株主還元方針（配当政策）及び2019年3月期の配当予想を下記のとおりいたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期の通期連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

（単位：百万円）

	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
2019年3月期	16,000	56,000	1,405円07銭

（注1）企業結合に係る会計基準に基づき、株式会社第四銀行については2018年4月1日から2019年3月31日までの連結業績、株式会社北越銀行については2018年10月1日から2019年3月31日までの連結業績を連結しております。

（注2）経営統合に伴う「負ののれん発生益」として460億円程度を特別利益に計上する見込みであります。

2. 株主還元方針（配当政策）

銀行業の公共性に鑑み、将来にわたって株主各位に報いていくために、収益基盤の強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、安定的な株主還元を継続することを基本方針といたします。

具体的には、配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処といたします。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、中長期的に5%以上を目指してまいります。

3. 2019年3月期の配当予想

	1株当たり配当金
	期末
普通株式	60円00銭

2019年3月期の配当につきましては、グループの通期業績予想や財務状況等を踏まえ、1株当たり60円の期末配当を実施させていただく予定です。

（注）2019年3月期中間配当につきましては、2018年9月30日時点の株式会社第四銀行及び株式会社北越銀行の株主名簿に記載された株主に対し、それぞれの銀行から実施される予定です。

以 上

※ 本資料に記載されている業績予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

【本件に関するお問い合わせ先】

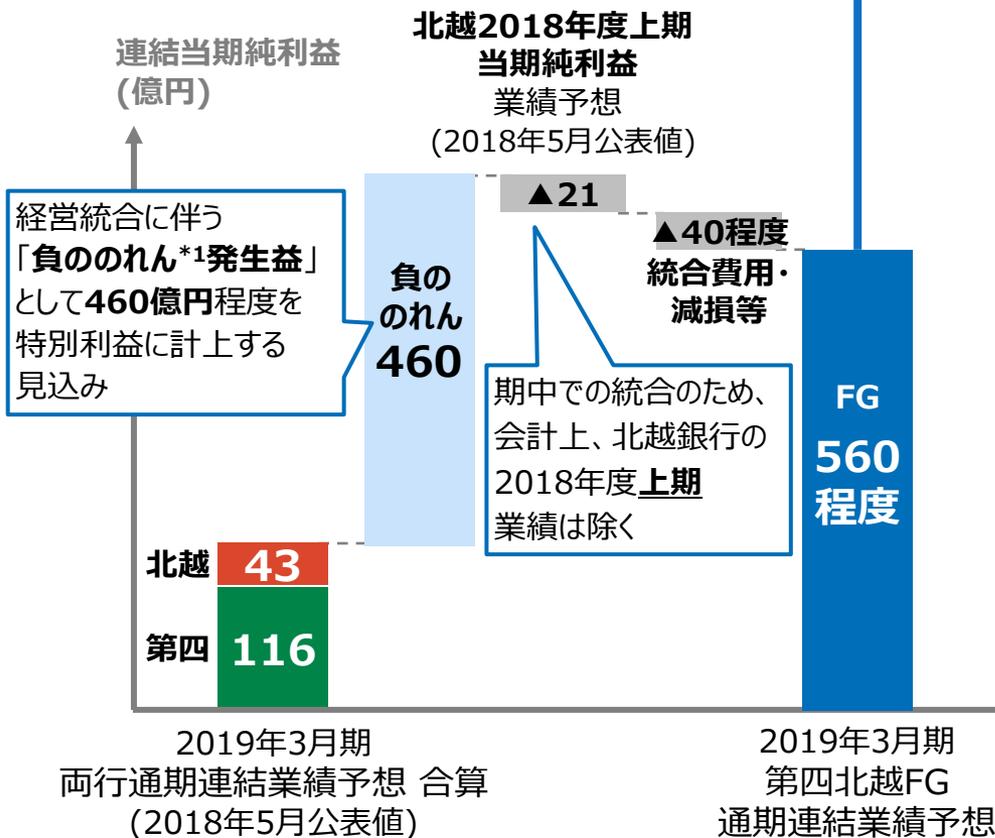
株式会社第四北越フィナンシャルグループ 経営企画部 025-224-7111

【資料】通期連結業績予想 並びに 株主還元方針・配当予想

1. 2019年3月期の通期連結業績予想

親会社株主に帰属する当期純利益 (予想)

2019年3月期 560億円



2. 株主還元方針 (配当政策)

配当金と自己株式取得合計の株主還元率40%を目処とします。

なお、当期純利益の増強を基本としてROE向上に取り組んでいく方針であり、中長期的に5%以上を目指してまいります。

3. 2019年3月期の期末配当予想

一株当たり配当額 (予想)

2019年3月期 期末 60円

*1

本経営統合により発生する「負ののれん」とは：

- 持株会社の連結財務諸表において、会計上の被取得企業である北越銀行の資産・負債は時価で計上され、持株会社による「北越銀行株式取得額」と同行の「時価ベースの純資産額」との差額が「のれん」として発生します。
- 本経営統合では、「北越銀行株式取得額」が同行の「時価ベースの純資産額」を下回ることから、その差額が持株会社の連結財務諸表において、「負ののれん」*2として発生する見込みです。

*2

株式取得額 < 時価ベースの純資産：負ののれん
株式取得額 > 時価ベースの純資産：正ののれん